

令和2年度 新潟大学東京事務所 Evening Seminar

「痛み ー見えないものへの挑戦ー」

高齢化社会を迎えた日本にあって、「痛み」は最大の関心事であり、克服すべき課題です。しかし、見えないゆえに克服が難しいのが「痛み」です。その難題に対して、お二方の講師にアカデミアと企業のそれぞれの立場からご講演をして頂きます。

1. 日 時 : 令和2年 11月 20日(金)18:00~19:30(受付 17:45~)

2. 開催方法: Zoom によるオンライン開催(参加費無料)

3. プログラム:

18:00~18:05 開会挨拶 … 新潟大学 牛木 辰男 学長

<第1部>

18:05~18:35 講演①

「見えない敵・痛みはどう挑むか ~失われた QOL の回復を目指して~」

講師 … 瀬尾 憲司 氏

(新潟大学 大学院医歯学総合研究科(歯科) 教授 / 専門分野 歯科麻酔学)

刃物が刺さっていれば誰もが痛いと思えます。しかし、末梢神経が傷ついた後に生ずる痛みを証明することは難しいことです。一般的な検査では証明できず、それを逆に悪用することも可能ではあります。現在の神経障害性疼痛の治療とは、実は神経の損傷部を治療しているものではありません。そこで本セミナーでは、末梢神経損傷の診療に求められていることについてお話します。

18:35~19:05 講演②

「痛みの見える化とビジネス展開 ~PainVision による客観的評価~」

講師 … 河合 健太郎 氏

(ニプロ株式会社/営業推進部)

知覚・痛覚定量分析装置 Pain Visio は、“痛みの定量評価”を実現しました。
本製品は、「電流知覚閾値」と「痛みの大きさ」を測定する医療機器で、患者が感じている痛みと同程度の大きさに感じる電気刺激の強さを測定することにより、痛みの大きさの評価をしています。本セミナーでは、Pain Vision PS-2100 の概要と運用、そしてニプロの「痛み」に対する取り組みを題材にお話します。

—— 休憩 5 分 ——

<第2部>

19:10~19:25 パネルディスカッション

19:25~19:30 閉会挨拶 … 新潟大学東京イノベーションクラブ会長
三輪 正明 氏